

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	代表 1	15	関口 雅治 (代表) 【一括質疑】	村椿 市長	1 消費税減税による地方自治体に与える影響について 政府による飲食料品の消費税を2027年4月から2年間、1％に引き下げる方針を閣議決定されました。全国の地方自治体では年間1兆6000億円の税収減が見込まれます。富山県と15市町村の税収が169億円減るとの試算を県がまとめています。減税によって県民の負担軽減が見込まれる一方、年金や医療、介護、子育ての社会保障経費やインフラ整備への影響が懸念され、自治体の歳入「地方消費税」「地方交付税」の財源に大きな穴が開くため、財源の確保に向けた議論が急務であります。
					① 消費税率が引き下げられた場合、本市の歳入の柱である「地方消費税交付金」が減少する事になります。本市における歳入への影響額をどのように試算しているのか、また福祉や教育そしてインフラ整備などの行政への影響をどのように考えているのか伺います。
					② 本市が持続可能な行政運営を行うために、確実な財源補填が不可欠です。国は補填をすると発表していますが、今後の取組や対応について伺います。
				村椿 市長	2 魚津市におけるタワーパートナーズセミコンダクター社の工場拡張の影響について 魚津市におけるタワーパートナーズセミコンダクター社(TPSCo)の工場拡張(総事業費6,000億円経済産業省から最大1,600億円の助成)は魚津市の地域経済や雇用、インフラ整備などに大きな影響があると思います。
					① 本市にとって歴史的な大チャンスであります。国、県の動きと連動し、魚津市としてこの事業拡大を円滑かつスピード感を持ってバックアップするために今後どのようにサポート体制を構築していくのか伺います。
					② 市内外のサプライチェーン、地場企業への発注拡大など波及効果や新規雇用の見通しなどについて伺います。
				村椿 市長	3 台湾交流事業について 富山空港から(富山・台湾)の定期便運航再開が始まります。魚津市は2025年7月に新北市板橋区との間で教育分野MOUを締結しました。また星の杜小学校と台湾溪洲国民小学校と姉妹校締結し、更に観光交流を進めています。
					① 星の杜小学校と溪洲国民小学校とのオンライン対面交流が始まりました。次世代を担う子どもたちが異文化に触れ理解し語学教育やグローバルな視点が深まります。魚津市内の他の小学校への展開はどのように考えているのか伺います。
				石黒 副市長	② 8月28日から31日まで魚津市は台湾に使節団を派遣しました。この台湾派遣事業において、具体的な成果を伺います。

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	代表 2	6	石崎 一成 (代表) 【一問一答】	石黒 副市長	1 風水害における事前防災の考え方
					(1) 本市における風水害により想定される災害リスクの現状把握について
					① 本市における宅地および商業施設などの開発行為における雨水の処理は、どのような基準によって運用されているのか？
					② 中山間地域全般や、現在は定住人口がゼロとなってしまった山間部の沢や小河川、林道や作業道の管理状況の把握はどのように行われているのか？
					③ 実測的な地形や高低差により評価された洪水ハザードマップや内水ハザードマップから、市民にどのようなことを伝えたいのか？
					(2) 人口減少時代に寄り添った地域ぐるみの備えについて
					① 住宅地が中心となる街区における雨水排水路の管理は地域にどのように委ねられているのか？
					② 農地と住宅地が混在するスーパー農道から上のエリアにおける水路や小河川の管理はどのようになされているのか？
					③ 高齢化と人口減少が進行する中で、水路等の持続可能な管理をしていくためにどのような取り組みが検討されているのか？
					(3) 防災DXを踏まえた風水害の取り組みについて
					① IoTプラットフォームの活用状況はどのようにになっているのか？また、どのような成果が見られているのか？
					② 本市において、災害記録はどのような基準で残されているのか？
					③ 魚津市公式LINEでおこなっている「道路・街灯の不具合に関する通報」と同様の手法を用いて、未然の冠水や溢水などの情報を収集することで危機管理能力の向上につながるかと考えるが見解は？
				舘 総務部次長	2 新庁舎整備に向けた業務のデジタル化について
					(1) 新庁舎の規模に合わせた紙ベースの資料および文書の減量について
					① 現庁舎内に紙ベースで保管されている資料や文書はどのくらいの量があるのか？また、保管期限毎のおおその構成比はどのような状況か？
					② 紙ベースで保存している膨大な資料は今後どのように取り扱っていくのか？
					③ 庁舎内業務のデジタル化推進には、1人1台端末とその記憶容量の最適化、サーバー容量の確保と全体のセキュリティ管理が重要と考えるが、現状課題と方向性についての見解は？
					(2) ガバメントクラウドの導入について
					① 導入予定が遅れているが、どういったことが原因となっているのか？
					② 新庁舎へ移行後もLGWANに対し有線LANの接続がスタンダードとなるのか？
					③ 導入時には試験運用などにより業務負担が増加すると考えられる。現庁舎での運用から新庁舎への移行に向けた流れをしっかりと示していく必要があると考えるが見解は？

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 1	4	野村 明男 (個別) 【一問一答】	山瀬 教育長	1 清流小学校を含む小中学校の統合や改築(庁内検討会の進捗と今後の予定) 令和7年6月・9月・12月の教育長答弁や魚津市教育振興基本計画にある「(仮称)魚津市小中学校教育のあり方 庁内検討会」について伺う。
					① 施設整備について、教育振興計画策定の中での議論から庁内の検討会でと後退した理由を問う。
					② 庁内検討会の進捗状況と検討事項を問う。
					③ 今後のスケジュールと市民・保護者への提示時期を問う。
				村椿 市長	2 新川学びの森天神山交流館の利活用について 学びの森天神山交流館の利活用に係る事業者募集について、令和8年7月3日募集なし(生涯学習・スポーツ課)、7月13日に再募集(総務課・行政行革係)とホームページに掲載されている。
					① 担当課が変更された理由を問う。
					② 8月4日の業者向け説明会・施設見学会及び問い合わせ状況を問う。
					③ (仮称)魚津市文化推進方針策定に係る市民アンケートには、どのような存続を求める声があり、どのように受け止めたか。
					④ 応募がなかった場合、魚津市の文化を守るために、さらに一年間、市が維持管理すべきと考えるが見解を問う。
				高森 生涯学習・スポーツ課長	3 文化サークル団体の発表会等への補助制度について 市内の文化サークル団体で、団員減少や高齢化が進み、新川文化ホール等で自主公演をする際の経費捻出に苦労している現状がある。
					① 近隣自治体のように、事業内容や公開性に応じた一定の基準を設けて、文化活動に対する補助制度を創設できないか。
				石須 埋没林博物館長	4 埋没林の魅力度アップについて 魚津埋没林博物館では、蜃気楼とのコラボ企画やハイビジョン映像の更新など努力を重ねられているが、主役である埋没林そのものの価値や魅力をさらに高める施策について問う。
					① 平成4年のリニューアルからの来館者の推移を問う。
					② 水中展示館で水中ドローンを操作して画像で観察できる体験型展示を導入できないか。
					③ 年末の水中展示館の水かけ清掃作業に、一般の来館者も参加可能にできないか。
					④ 乾燥展示館の埋没林に縄文や弥生などの時代を示す表示を付け、併せて現代の杉と重さや硬さを手で比べられるハンズオンコーナーを設けられないか。
					⑤ 外国人来館者への対応として2次元コードでの施設案内は3か国対応であるが、展示パネル本文の多言語化も進められないか。

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 2	3	大城 章仁 (個別) 【一問一答】	山本 防災危機管理室長	1 豪雨災害対策について
					① 8月下旬の大雨特別警報下において、当局はどのような危機管理体制をとっていたのか問う。
					② 大雨特別警報下において、当局はどのような情報発信していたのか問う。
					③ NICE TVを通じた市民への情報はどのように発信しているのか。
					④ 新たな防災気象情報の各レベル(段階)に対する市民の認識度合は、どれくらいであると思われるか問う。
					⑤ 集中豪雨等を想定した避難訓練の必要性について問う。
				宮崎 建設部長	2 社会インフラの維持管理について
					① 道路や上下水道等の社会インフラの点検体制について問う。
					② 持続可能な社会インフラのための計画策定をするべきだと考えるが、その見解について問う。
				米島 こども課長	3 放課後児童について
					① 児童センターがない地域における児童の居場所について問う。
					② 児童センターがない地域の児童のためのバス輸送の導入について問う。
					③ 小学4年以降の放課後児童の居場所について問う。
					④ コミセンや小学校空き教室などの利活用の可能性について問う。
				赤坂 総務部長	4 当局の国際化・多言語化に向けての取組みについて
					① 市職員の語学教育・おもてなし教育をするべきだと考えるが、それに対する見解を問う。
					② 当局に「国際交流課」(仮称)を新設するべきだと考えるが、それに対する見解を問う。
					③ 手話言語条例を制定するべきだと考えるが、それに対する見解を問う。
				赤坂 公共施設再編推進室長	5 旧総合体育館について
					① 昨年9月定例会で旧総合体育館跡地利活用に係るサウンディング調査を実施すると答弁されたが進捗状況について問う。

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 3	2	寺口 俊光 (個別) 【一問一答】	宮崎 建設部長	1 都市計画法施行令の一部改正による開発許可の基準の緩和について
					① 開発公園の設置数と平均面積を伺います。
					② 市の維持管理コスト(除草・遊具点検)の推移を問う。
					③ 公園の維持管理が地元自治会の重荷になっていないか？
					④ 役割を終えた開発公園を廃止する事はできるのか？
					⑤ 都市計画法施行令の一部改正に伴い、新潟県燕市など全国の自治体では許可基準の緩和について条例や規則の改正を行っている。本市でも緩和できる可能性はないか？
				赤坂 総務部長	2 建設業の暑さ対策について
					① 熱中症被害者が増加しており、労働基準法に基づく熱中症対策は毎年厳しくなっている。真夏の工事のリスクを伺う。
					② 市の工事や業務委託の発注タイミングの平準化への取り組み状況を伺う。
					大手ゼネコン(株)大林組は猛暑期間の7月から8月を対象に、国内建設現場の作業時間帯を午前7時から午後1時までに変更する取り組みを発表した。今後他の現場や資材供給会社にも影響が広がる可能性がある。作業時間の削減から来る工期延長等の影響が予想され、その影響は全国に広がる可能性を感じている。企業の暑さ対策が魚津市にどのような影響を及ぼすと考えられるか？
				松木 財政課長	3 国庫補助金等の内示率について
				村椿 市長	① 4月1日付で「工事並びに業務委託の発注予定」が公表されたが、5月1日付で修正された。修正した理由と修正した基準を伺う。
					② 内示率を把握した上で6月議会に肉付予算案を提出すべきではないか？また3月議会に提出する予算案は骨格予算で良いのではないか？
				石黒 副市長	4 防犯カメラについて
					① 農業や漁業の生産物や資機材に対する盗難被害の発生状況や有害鳥獣被害状況、およびそれらに対する市や警察の巡回・防犯対策の現状を伺う。
					② 生産品や資機材の見守りや犯罪抑止において、こうした防犯カメラの設置は極めて有効であるが、市としての防犯カメラの防犯効果や導入意義に対する認識を伺う。
					③ 他の自治体では、農家の安心感を高め生産意欲を維持するために、市単独で踏み込んだ財政支援を行っている。本市においても、こうした先進事例を調査研究しているか？
				村椿 市長	④ 基幹産業である農業と漁業を守るため、またそれを支える農家や漁師の大切な財産を守り抜くため、防犯設備補助制度を新設するなど、支援を行う考えはないか？
				西川 建設部次長	5 効率的な会議の開催について
					① 富山市では複数の期成同盟会を合同総会で開催する事例がある。当市でも工夫が必要ではないか？(両組織の主催者が開会閉会の挨拶で役割分担させたり、来賓からの祝辞を一括で頂く工夫がされている)
				戸田 企画広報室長	② 市の表彰式等の式典時間を短くする工夫は考えられないか？(富山市の表彰式では受賞者が壇上に来て頂くのではなく、プレゼンターである市長が受賞者の元に行き、受賞するなど時間の使い方が工夫されている)
				河崎 新庁舎整備室長	6 新庁舎について
					① 基本設計では免震工法を採用しているが、免震工法の坪単価はいくらくらいが相場か？

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 4	1	宮坂 昌利 (個別) 【一問一答】	館 総務部次長	1 人事行政の運営等の状況について
					① 時間外手当が引き続き高止まりしており、特定の部門や職員への負担集中が懸念される中、職員の心身の健康を守り、離職や休職を防ぐための業務量の調整や労働環境の改善の取り組み状況はどうか？
					② 育児休業や家族看護休暇などの取得が進む一方で、現場への負担はないのか？また、仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくりや代替要員の確保の取り組みについて問う。
					③ 近年、実施された生成AIやDXに関する職員研修の成果が実際の業務改善にどのように活かされているのか？
					④ 保育士の受験者確保の現状と、保育士のなり手不足に対する新たな取り組みの考えはあるのか？
				石浦 市民環境課長	2 電気自動車用急速充電器について
					① 急速充電器設置の目的と、近年の利用状況を問う。
					② 令和6年2月の有料化以降、利用件数が激減しており、民間による充電インフラの普及が進む現状において、市役所に急速充電器を設置・維持し続ける必要性や行政関与の妥当性について見解を問う。
					③ 今後も利用低迷が継続した場合、維持管理コストとのバランスを考慮し、撤去や民間への譲渡など抜本的な見直しを行う考えはないのか？
				山瀬 教育長	3 幼保小接続事業について
					① 幼保小架け橋期コーディネーターの役割を問う。
					② 令和7年度の具体的な活動の手ごたえと、計画7人に対し実績4人となった「小学1年生の不登校児童数」の要因を問う。
					③ 小学校入学後の指導計画(スタートカリキュラム)の見直しにあたり、保育園側と小学校側の意見がどう反映され、現場の接続にどう活かされたのかを問う。
				米島 こども課長	4 公立のこども園整備について
					① 市内には公立の認定こども園はないが、共働き世帯や多様な働き方が増える中で、行政として現在の認定こども園の供給体制をどう評価しているのか？
					② 教育と保育を一体的に行い、地域の子育て支援の中心的な役割を担う公立の認定こども園を整備すべきと考えるが、見解を問う。
					③ 今後、老朽化する公立施設の改修や再編のタイミングに合わせて、公立の認定こども園への移行、あるいは新設を検討する考えはないのか？

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 5	13	浜田 泰友 (個別) 【一問一答】	山瀬 教育長	1 小中学校教育のあり方検討について
					本年度、教育委員会を中心とする「(仮称)魚津市小中学校教育のあり方庁内検討会」が設置された。
					① 検討会の目的と目指す小中学校教育のあり方を問う。
					② この検討では何年先を見据えたものとするのか。
					③ 児童生徒数の推移をどのように捉えて議論につなげていくのか。
				田中 教育委員会事務局長	2 小学校体育館への空調整備について
					① 小学校体育館への空調整備の進め方とスケジュールについて問う。
					② 整備費や維持管理費の抑制に向け、家庭用エアコンの活用を含めた整備手法について見解を問う。
					③ 体育館の断熱・遮熱対策をどのように取り組むか。
				村椿 市長	3 富山地方鉄道再構築について
					① 県の再構築検討会において「本線全線維持を方向性として検討する」ことが確認されたが、市長はこの方向性をどのように受け止めているか。
					② 再構築において、本市として特に確保すべきと考える鉄道ネットワークや利便性は何か。
					③ 今後の費用負担について、本市としての見解を問う。
				村椿 市長	4 北方領土問題について
					① 北方領土問題の早期解決が難しい状況が続く中、本市としてこれまでどのように取り組んできたのか。
					② 元島民の高齢化が進む中、北方領土と本市・新川地域との歴史や記憶を次世代にどのように継承していくのか。

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 6	11	松倉 勇 (個別) 【一括質疑】	村椿 市長	1 タワーセミコンダクター社の本市魚津工場および妙高市を中心に、総額6,000億円を超える大型投資計画発表について
					① 経済効果の把握について 今回の投資が本市にもたらす雇用、人口流入、住宅需要、関連産業への波及、税収への影響など、経済効果について、本市としてどのように把握しているのか伺います。また、現時点で試算を行っている場合、いつまでに、どの範囲を対象として、どの方法で試算を行うのか具体的な予定をお示しください。
					② 人材流入と住宅政策について 光半導体の量産拡大に伴い、技術者やその家族の移住が見込まれます。本市として住宅需要の増加をどのように見込んでいるのか。企業側への照会を行ったのか。行っていない場合は、いつ行うのか。
					③ さらに、空き家活用、民間賃貸の供給促進、子育て環境整備など、市として検討している具体策があれば示してください。
					④ 地元企業の参入支援について 光半導体は材料・装置・精密加工など、地元企業が参入可能な領域が多くあります。本市として、地元企業へのヒアリングやマッチング支援を行う予定があるのか。ある場合は時期を、ない場合は行わない理由を示してください。また、中小企業基盤整備機構、JETROなど、専門機関との具体的な連携計画があれば伺います。
					⑤ インフラ負荷の把握について 工場の増産や新設に伴い、水、電力、道路交通などのインフラ負荷が増加する可能性があります。本市として、企業側にどの項目について確認したのか。確認していない場合は、いつ行うのか。インフラ整備は後追いでは間に合いませんので、現時点での把握状況を伺います。
			村椿 市長		2 県が示した地鉄本線の精査結果について
					① 県の精査結果に対する市長の基本認識について 県が示した地鉄本線の精査結果について、市長は新聞報道の中で、「再構築事業の議論に進むという意味で、一歩前進と受け止めている。」と述べられました。改めて、市長として今回の精査結果をどのように評価しておられるのか、お聞かせください。
					② 県試算の妥当性に対する市長の評価について 県の試算の妥当性について伺います。市長は、「費用負担の問題を懸念材料に議論を止めてしまうと、話は終わってしまう。」と述べられています。県の試算では、赤字額の縮小や、社会便益二百九億円という数字が示されています。これらの試算について、市長はどのように評価しておられるのか。また、県の説明は十分であるとお考えなのか、伺います。
					③ 再構築事業の“規模が見えていない”問題について 市長は、「どのような負担割合にしろ、総額が膨らめば沿線自治体の負担は重くなる。そして、根っこになる再構築事業の規模が見えていない。そこをしっかりと議論しなければならない。」と述べられています。市長として、県が再構築事業の総額や規模を示していない現状を、どのように受け止めておられるのか。また、県に対して、どのような情報開示を求めていくお考えなのか、伺います。
					④ 沿線自治体の費用負担の見通しについて 市長は、「総額が膨らめば、沿線自治体の負担は重くなる。」と述べられています。本市として、再構築事業における費用負担のあり方を、どのように考えておられるのか。また、県に対し、費用負担の枠組みをいつまでに示すよう求めていくのか。市としての方針を伺います。
					⑤ 地鉄の経営危機と県の対応について 地鉄は「行政支援が得られなければ廃線も辞さず。」と表明しています。市長として、地鉄の経営状況をどのように見ておられるのか。また、県の支援策の現状をどう評価し、どのような対応を求めていくお考えなのか、伺います。
					⑥ 地鉄本線全線維持に向けた市の姿勢について 最後に、地鉄本線全線維持に向けた市の姿勢について伺います。市長は、「議論を止めてはならない。」と述べられています。地鉄本線全線維持に向けて、本市として県にどのような姿勢で臨むのか伺います。また、沿線自治体として、どのような連携を図っていくのか。

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 7	5	島田 修 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 新川学びの森天神山交流館と天神山地域の将来について
					再プロポーザルの現状とその位置づけについて ① 再プロポーザルの現状と今回のプロポーザルが天神山地域の将来像を決めるものなのか、それとも市が描く天神山地域の将来ビジョンを実現するための一つの手段として位置づけられているのか？
					② 天神山地域の市が主体となった将来像について 天神山地域の将来像を描き、その実現に責任を持つ主体は魚津市と考えるが、市長の認識を伺います。
					学びの森が果たしてきた機能と代替困難な施設特性について ③ 今後のあり方を検討するに当たり、施設維持管理費や老朽化の状況だけでなく、年間2万人を超える利用実態、施設機能、市民文化活動の拠点としての役割、市外・県外・海外からの交流人口や地域経済への波及について評価・検証を行っているか？
					「文化に関する意識調査」の結果公表と文化施策の繁栄について ④ 本年7月、「(仮称)魚津市文化推進方針」の策定に向けた市民アンケートについて、回答数、回答者の属性、集計結果及び意見を、市はどのように分析し、文化推進方針に反映していくのか？
				山瀬 教育長	プロポーザル終了後、市の方向性について ⑤ 前議会でプロポーザル終了後、「庁内で協議する」と答弁されましたが、市として学びの森の取扱いについて、いつまでに一定の方向性を示すのですか？
				高森 生涯学習・スポーツ課長	
				村崎 教育委員会事務局次長	2 中学校体育館等への空調設備整備について
					① 施工時期・運用の早期化について 令和9年度の「いつ頃」までに完成・稼働を目指しているのか、具体的なスケジュールと早期完成に向けた見通しについて伺います。
					スケジュールの前倒し・迅速な進捗管理について ② 実施計画から工事発注、施工に至るプロセスの中で、入札の早期化や工事期間の短縮など、少しでも早い稼働に向けた工夫やスケジュールの前倒しは検討できないか？
				山瀬 教育長	③ 小学校体育館への波及・全体スケジュールの見通しについて 中学校での早期施工のノウハウを、今後の小学校体育館の整備へどのようにつなげていくか、考えを伺います。
				山本 防災危機管理室長	移動式エアコンの地域施設(旧小学校体育館)への移設・配分方針について ④ 小学校体育館へ常設空調整備が進んだ段階で、現在配置されている移動式エアコンを、地域のコミュニティセンターとして活用されている体育館へ順次移設・再配置する考えはあるのか伺います。
				高森 生涯学習・スポーツ課長	3 松倉城跡国史跡指定申請について
					① 進捗状況と今後の展望について 松倉城跡を国史跡指定の申請を目指して作業をしていますが、進捗状況と今後の展望はどういう状況ですか？
					魚津市文化財保存活用地域計画について ② 国史跡指定を取ってからではなく、平行して「魚津市文化財保存活用地域計画」を作成していかなければならないと思いますがどうですか。

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 8	14	中瀬 淑美 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 市民生活への負担と、物価高騰対策について
					① 生活支援策と料金改定の実施時期について
					② CATV利用料金の激変緩和について
				赤坂 総務部長	2 類似公民館の耐震化支援について
					① 現状把握と「防災拠点」としての位置づけについて
					② 耐震診断・改修に向けた市独自の支援について
					③ 自治会合併を見据えた公民館の集約と耐震化について
				山瀬 教育長	3 不登校児童・生徒と脳脊髄液漏出症への対応について
					① 不登校の背景にある身体的要因について
					② 教職員への周知・研修について
					③ 学校・家庭・医療の連携について
					④ 総合的な支援体制について
				池川 民生部参事	4 MRI更新とアピアランスケア事業の拡充について
					① 富山労災病院のMRI更新に向けた協議や準備の現在の進捗状況について
					② 対象品目や助成回数の見直しなど制度のさらなる充実と、医療機関等と連携した周知の強化について
					③ アピアランスケアの新たな支援策として、抗がん剤治療による脱毛を軽減する「冷却キャップ」をアピアランスケアの新たな支援策として、購入費の助成を検討してはどうか
					④ 乳房補整具等にとどまらず、エビテーゼまで助成対象を拡大する考えはないか
				矢野 民生部次長	5 難聴高齢者への支援について
					① 加齢性難聴の正しい知識や早期受診の重要性について、どのような普及啓発を行っているのか
					② 補聴器購入に対する公的助成制度の導入について

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 9	17	寺崎 孝洋 (個別) 【一括質疑】	宮崎 建設部長	1 大雨による氾濫・浸水・冠水への備えについて
					① 水害に関するハザードマップは二種類ありますが、どのように配布されたのか？また、その違いが市民に伝わっているのか？見解を問う。
					② 川に対する備えですが、県の治水対策プロジェクトとして鴨川・片貝川の両水系についてありますが、その進捗度及びそのプロジェクトに何を望んでいるかについて問う。また、角川や早月川についてどう考えているか？
					③ 雨水に対する備えですが、内水ハザードマップの想定は130mm/hですが、排水能力との差はどれだけか？また、その差をどう埋め、できない時の優先度について問う。
					④ 道路に対する備えですが、線路下を潜るアンダーパスなどは、どの位あり冠水表示や通行止めなどを行う体制はどのようになっているか聞く。
				赤坂 防災危機管理監	⑤ 住民への素早い情報伝達の考え方について聞く。(高齢者・障がい者なども含め)
				館 総務部次長	2 カスハラ対策の義務化について
					① 10月1日からカスハラ防止措置の義務化となります。市役所として対応指針やマニュアルを作成され職員に周知されていますか？また、どんな内容ですか？
					② カスハラの実態を調査したことがありますか？どんな内容で何件ありましたか？
					③ 正当な要求とカスハラの線引きを誰がどんな基準で判断しますか？
					④ カスハラを発生させないためには職員の接遇向上も必要ですが、研修は行ってますか？
					⑤ 接遇だけでなく、仕事の方法(窓口改革・DX改革)などもカスハラ抑止になると考えますが見解を聞く。
					⑥ 対応方針の公開はカスハラ抑止に繋がると考えます。公開する考えはありますか？また、その中にはネット上での誹謗中傷について記載されますか？
					⑦ 市の施設を運営しているのは正職員のみならず会計年度職員や指定管理者・委託先で働いている者もありますが、カスハラ対策方針の対象と考えますか？
				小林 建設部次長	3 チョイソコ魚津について
					① 3月議会(大城議員質疑)で登録者1,065人中利用者は300人と答弁したが、登録者が増えた今、何人の利用者となっているか。
					② 6月議会では「仕組みが分かりづらい」との苦情が述べられてましたが、乗らない・使わない理由ではと考えます。それらの分析などをされたのかを聞く。
					③ 予約が取れない(断らない)・遠回りであるという苦情に対応するには相反が発生します。乗合率の現状と目標値、遠回りの許容範囲などについて聞く。
					④ 予約困難の対策としてシステム開発会社との連携やコールセンター職員研修などの効果について聞く。

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 10	10	岡田 龍朗 (個別) 【一問一答】	石黒 副市長	1 森林環境税について
					森林環境税は、個人住民税の均等割と併せて徴収しています。年額一人1,000円である。
					① 昨年度の魚津市の徴収額、譲与税額、森林環境保全基金の状況は。
					② 魚津市での森林環境譲与税の使途はどのようなものか。
					③ 地元産材の活用は要である。どう取り組んでいるのか。
				石黒 副市長	2 女性用トイレについて
					① 国土交通省は、令和8年6月に女性用のトイレ数を男性用以上とするガイドラインを公表しており、新庁舎建設の設計等に取り入れるべきと考えるが、どのような見解か。
				山本 防災危機管理室長	3 防災について
					自然災害が地球規模で発生し、市民の防災意識が高まっている状況である。
					① 市内の各地区のコミュニティセンターは、災害時の避難施設であるが、耐震性はどうか。
					② 木造建築の町内会館等の耐震調査を行うことも必要であると考えているが、実施できないか。
					③ 魚津市は、災害時の防災用品の備蓄に取り組んでいるが、どのような備品をどれくらい拡充していく予定か。
				窪田 民生部長	4 介護について
					埼玉県でケアマネージャーが訪問先の家で危害を受けて亡くなるという事件が発生し、厚生労働省が安全対策として複数で訪問する場合、その財政支援を行うとしている。
					① 魚津市での対応、対策はどうか。
					② 県では、ポケットに入る「ステルス通報機器」導入を支援するとしている。魚津市の考えはどうか。
					③ 厚生労働省が定める介護保険制度の「特定地域」に魚津市が該当する可能性があると思われるが、どのような影響があるのか。
				石須 埋没林博物館長	5 魚津埋没林博物館について
					① 魚津埋没林博物館の令和7年度決算額はどれくらいか。また、近年の入場者数の推移はどうか。水族博物館と連携している事業効果等をどのように捉えているか。
					② 魚津埋没林博物館では、多様な企画展等を行っており、集客を拡大するための重要な施策である。子どもたちへの働きかけや来場者の意識調査等はどのようにしているのか。
					③ 魚津埋没林博物館の情報発信はどのようにしているのか。また、観光パンフレットなどを見た際に、魚津埋没林博物館の印象が薄いと感じるが、どう考えているか。
					④ 立山・黒部ジオパークの拠点施設として果たす役割について、ジオパーク圏内の博物館との連携、県外の博物館との連携等はどうか。

魚津市議会 令和8年9月定例会

2026/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 11	16	越川 隆文 (個別) 【一括質疑】	村椿 市長	1 半導体工場拡張に際する環境保全について
					(1)片貝川水系および地下水の環境保全とグローバル水準の水循環システムの導入について
					① TPSCo(タワーパートナーズセミコンダクター社)魚津工場の増強計画に伴う地下水取水量・排水量増大への懸念と、従来の希釈・河川放流方式(旧松下時代からの設備)の抜本的見直しをしてはどうか。イスラエル本社(ZLD:液体廃棄物ゼロ排出技術、回収率60～70%超)や米国拠点、国内先端事例(熊本JASMの30系統分別・回収率75%・地下水涵養協定、富士電機の配管地上化等)と同等の高度環境基準を適用してはどうか。
					② 過去および現状のPFAS(有機フッ素化合物)の片貝川・地下水モニタリング状況と、活性炭吸着設備等による漏出防止対策、PFASフリー化の進捗状況を問う。
					(2)北陸半導体コンソーシアムにおける本市の役割とポリテクカレッジ富山を軸とした現場人材の育成確保について
					① 金沢主導に偏りがちな広域コンソーシアム(大学・高専中心)に対し、市内に所在するポリテクカレッジ富山(JEED)を「保全・製造技術の現場中核校」と位置づけた経産省・厚労省連携による設備・カリキュラム支援の拡充をしたらどうか。
					② 地域未来投資促進法や国の半導体人材育成支援基金を活用した地元高校(魚津工業・新川高校等)からの就職・定着奨学金制度の構築をすべきではないか。
			村椿 市長	2 新庁舎建設基本計画の見直しについて	(1)国の積極財政路線の限界と地方財政への打撃(金利上昇・交付税圧縮)の試算について
					① 米国からのリフレ是正外圧や国債消化限界に伴う長期金利上昇が、将来の地方債起債利払いや地方交付税総額に与える影響をどう認識しているか。
					(2)総事業費約74億円の前提崩壊と、延床面積圧縮(DX前提)・PFI等によるリサイズについて
					① 建設物価高騰と労務単価上昇による事業費上振れリスク(85～90億円規模への懸念)と将来の公債費負担による市民サービス圧迫について、どのように考えているか。
					② AI・マイナンバー・行政DX普及による来庁需要減を踏まえた延床面積の2～3割圧縮、事業費キャップ(上限)設定、民間活力導入(PFI等)や現庁舎長寿命化・サテライト化の再検証について、どのように考えているか。
			村椿 市長	3 富山地方鉄道支援策について	(1)1年間の過渡的・単発支援の限界と、赤字補填に終わらせないための構造改革について
					① 県と沿線市町村による1年間の緊急支援が、単なる「赤字の穴埋め」で霧散するリスクへの検証はどうか。
					(2)自治体出資による公有民営(上下分離方式)への移行と国の継続的補助金・交付税措置の最大活用について
					① 地域公共交通活性化法に基づく法定計画策定と、自治体出資をテコにした国の複数年支援パッケージ(補助率引き上げ等)および特別交付税措置の獲得についての見解はどうか。
			村椿 市長	4 新川学びの森天神山交流館等利活用について	(1)交流館本体の解体・減築と、音響的価値を有する桜ホールを選別的存続について
					① セントラル空調等の老朽化による莫大な維持管理費を止めるための「交流館本体の除却(解体債の活用)」と、県東部で希少な本格的音楽ホールである桜ホールのインフラ独立化(個別空調化等)による維持管理費圧縮を検討してはどうか。
					(2)市民農園・里山保全(パーマカルチャー)と天神山温泉の権利活用による地域コモンズ再生について
					① 呉羽の里山保全事例を参考に、解体後の敷地を一般社団法人等による市民協働型農園・食とエネルギー自給の拠点として活用し、市の維持管理費をゼロ化する公民連携を検討してはどうか。
					② 長期廃墟となっている旧天神山温泉の権利関係調査・整理と、近隣ワイナリー(KANATA WINERY)等と連携した高付加価値なエコ温泉・ヴィンヤードスパ等の官民連携(SPC手法)による可能性を検証してはどうか。